

中間市・鞍手町との水道事業における広域連携の検討状況について（報告）

1 経緯

北九州市上下水道局は、北九州都市圏域の中核都市として、近隣市町と水道事業における多様な広域連携を進めている。

平成29年度からは、北九州都市圏域の水道事業者を中心に「水道広域セミナー」や「広域連携に関する勉強会」を開催するとともに、随時、個別協議を実施している。

こうした取り組みの中、令和2年度に鞍手町、直方市と緊急時の相互応援及び広域連携の推進を主な内容とする「技術協力に関する協定」を締結した。（中間市は平成26年度に同様の協定を締結済み）

令和3年度には、中間市、鞍手町及び直方市と4者共同で多様な広域連携のニーズや可能性について調査した。

このうち中間市及び鞍手町から、令和4年10月、水道用水供給事業について、更なる検討実施の要望があった。

本市としても、本事業は3者それぞれに効果が期待できる連携方策であることから、今後、詳細な協議・検討を開始することとした。

2 水道用水供給事業の概要

	計画水量(m ³ /日)	施設整備（管路）		備考
		概要	整備費	
中間市 及び 鞍手町	約 13,000	送水管 φ300~450 L≒12km等	約 30 億円	管路以外の施設については検討中

※中間市の水道事業は昭和46年に遠賀町の水道事業を統合

3 見込まれる事業効果

- (1) 本市の効果：施設稼働率の向上による水道事業の固定費負担の軽減
- (2) 両市町の効果：水源転換による安定給水の確保、老朽化した浄水場の廃止による更新費用及び維持管理費用の削減

4 今後の予定

今後、想定される施設整備の内容や、実施に必要な条件の整理など、両市町と、具体的な協議及び検討を進めるとともに、「水利使用許可」「認可変更」「国・県の財政支援などの財源確保」などの課題について、広域連携の推進役である福岡県や関係機関との協議を進めていく。

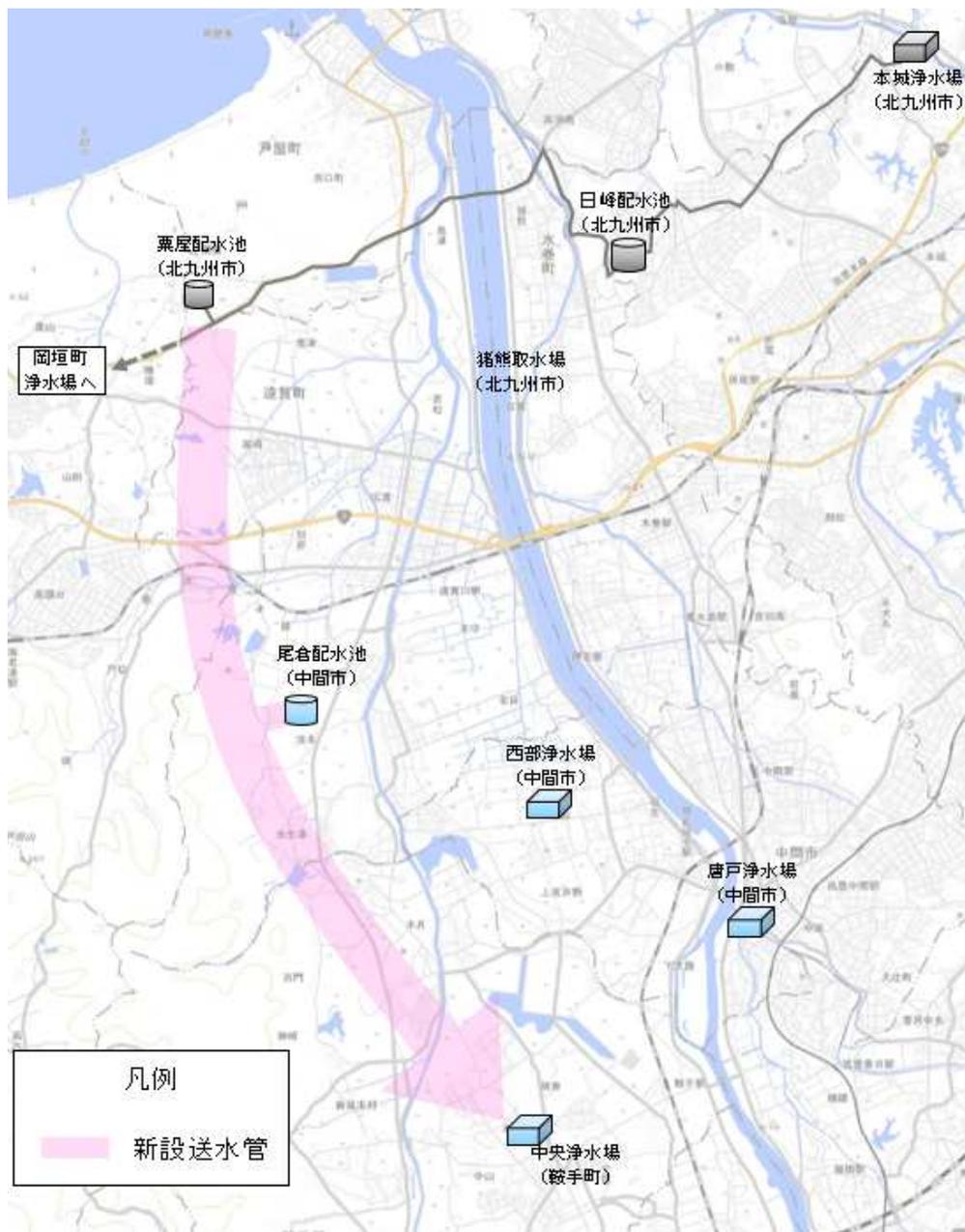


図 用水供給のイメージ

<参考> 水道事業の諸元 (令和2年度「福岡県の水道」より)

項目	中間市※2	鞍手町	北九州市※1
行政区域内人口 (人)	58,732	14,948	975,365
給水人口 (人)	58,467	13,307	971,012
1日最大給水量 (m ³)	22,140	5,922	369,122
年間給水量 (千m ³)	6,299	1,748	108,134
有収率 (%)	88.9	85.9	90.8
水道料金 (税込み) ※3	2,486 円	3,018 円	2,200 円

※1：北九州市については芦屋町・水巻町を含む

※2：中間市については遠賀町を含む

※3：20m³使用した場合の水道料金 (家庭用φ13mm、月額)